

大子中学校だより

ポータルサイト<https://www.daigo.ed.jp/page/dir00009.html>

夢に向かって挑戦し、手応えを実感する



文責 校長 長山 芳子
大子町立大子中学校
久慈郡大子町池田1648
TEL 72-0158, FAX 72-0461

「秋輝祭～二度と来ないその一瞬を～」 まであと10日

11月2日(木)の秋輝祭まであと10日となりました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の制限が緩和されたことを受け、昨年度より発表内容を拡げました。

今年度のスローガンは、1年2組〇〇〇〇さんが提案した「二度と来ないその一瞬を」です。10月20日(金)には、全体の流れを確認し、各学級の合唱の一部を発表するリハーサルを実施しました。合唱については、まだ仕上がっているとは言えませんが、精一杯発表する姿、発表の後には自然と拍手が沸き起こり、互いを称え合う姿から、本校の生徒の良さが伝わってきました。

3年生は、中学校生活の集大成となる発表を、2年生は昨年経験している分、さらなる目標を設定して、1年生は初めての挑戦とそれぞれの学年で経験や実態は違いますが、全校生徒が、二度と来ないこの一瞬を大切に、一人一人が人として、大子中学校の生徒として成長する機会にしています。保護者の皆様には、ご多用の中とは存じますが、是非会場に足をお運びいただき、生徒たちの様々な日々の学びの成果をご覧ください。



ようこそ！先輩！！

10月10日(火)～10月23日(月)まで、本校卒業生の〇〇 〇〇(〇〇〇〇)さんが、教員免許状取得のための教育実習をしています。1年1組の藤本幸恵先生のもとで、教師としての生徒達へのかかわりや授業づくりを学んでいます。10月20日(金)には、社会科の研究授業を行いました。電子黒板やワークシートを工夫して、生徒が分かる授業に挑戦しました。

佐藤さんは、大子中学校出身。中学校時代の学級担任や部活動の顧問の先生とのかかわりを通して、「生徒の成長に寄り添える先生になりたい」という夢をもって、その進路実現のために挑戦を続けてきたとのこと。生徒達の先輩である〇〇さんに、インタビューしてみました。



◆中学校生活で印象に残っていることは何ですか。

私は、中学校時代に一番力を入れていたのは部活動だったと思います。部活動や学校行事でみんなと一緒に協力して頑張り、やり切った経験がその後の人生の様々な場面で生きています。秋輝祭でも意見の食い違いを乗り越え、精一杯やり遂げたことが心に残っています。

◆実習をして、生徒の生活や教師の仕事はどう思いましたか。

今の生徒は、タブレットを使った学びが定着していて自分たちの頃より学びが進化していると思いました。実習を通して、教員の仕事量の多さに驚きました。でも、先生方が子どもたちのためにと頑張る姿や生徒の気持ちを受け止めながら、かかわっていることに感動しました。

ストレス対処法～スクールカウンセラー授業プログラム～

10月20日(金)にスクールカウンセラー小泉先生による授業プログラムを実施しました。今回の3年2組は「ストレス(ストレスの元)」「ストレス反応」「ストレス対処法」について、生徒一人一人がチェックリストを元に考えていました。ストレス対処方法には「問題に立ち向かう」「プラスの気持ち」「相談」「傷つけ発散」「気持ち押し込め」などがあり、生徒はチェックリストから自分の傾向をつかんで、よりよい方法を考えました。

この授業で、担任の尾花教諭や参観していた私も自分のストレス対処法を紹介しました。小泉先生は、この学習を通して、ストレスに感じることは誰にでもあり、自分のストレスも工夫すればどうにかなるものだと感じてほしいと話してくださいました。



